

★ 高岡市民歩こう会 ★ H28 第12回 平成28年10月2日(日)

福岡 錦鯉のふるさと「成田養魚園と鯉の里公園」コース 予定 約6km 予定表

- 9:10 あいの風とやま鉄道福岡駅前 集合
オリエンテーション、準備体操、トイレ
↓
10:30 佐伯家（国指定重要文化財）見学 トイレ
↓
11:30 成田養魚園 見学 トイレ
↓
12:00 鯉の里公園 昼食 トイレ
↓
12:45 あいの風とやま鉄道福岡駅前 解散

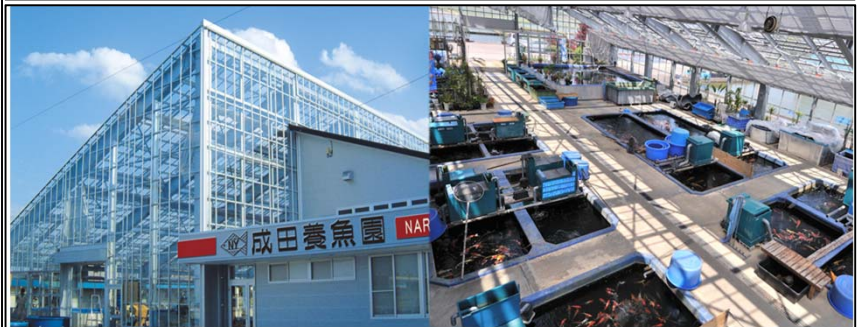
帰りの電車					
福岡→高岡		高岡→伏木		高岡→戸出	
福岡発	高岡着	高岡発	伏木着	高岡発	戸出着
13:31	13:39	14:07	14:39	13:44	13:57
14:15	14:23	14:41	15:01	14:31	14:45
14:53	15:02	15:30	16:02	15:41	15:55
15:37	15:45	15:51	16:10	16:42	16:55



鯉の産地である福岡町ならではの錦鯉が泳ぐ公園です。平成15年に開園されました。福岡地区の地場産業のひとつである養鯉は1866年大和国郡山から種鯉が移入されたことがきっかけです。当時は湿地が多く水田に不向きだったため、養鯉が発達したそうです。併設の鯉の里資料館では、そんな鯉の歴史や養鯉の方法や道具の展示なども行っています。滝のある池には色とりどりで大きな錦鯉がたくさん泳いでいますので、お近くにお出かけの際には少し寄ってみてはいかがでしょうか。



佐伯家住宅は、入母屋造、平入の建物で、桁行10間（18.2m）、梁間7間（12.7m）の規模で東面する。このうち正面にあたる3間半がかや葺きの主屋とひさし、背後の3間半が棧瓦葺きの「おろし」となっている。また、昭和の大修理の結果、移築時を含めて3度の拡張が行われていたことが明らかとなっている。移築前は、主屋背面に「中つのが」があったが、移築されたのは主屋だけで、その後「つのが」、「おろし」、「しょくじば」が順次増築された。佐伯家住宅は、県内の平野部に残る農家建築の中でも年代が古く、「おろし」を附属させて建物背面を拡張した例として代表的である点などが高く評価され、昭和46年に重要文化財に指定されている。



明治から大正にかけて農家の半数以上が副業として食用鯉を養殖し、全国的に鯉の産地として知られるようになりました。その後、第二次大戦中に食料増産のため養魚池を水田に転換する政策により、養魚業者が減少しましたが、現在でも当社を含む生産業者により食用鯉の伝統はいきづいています。特に食用鯉は、国魚である錦鯉を生み出した魚として敬意を持って大切に育てられています。当社は、初代園主成田熊吉より代々120年以上の歴史に支えられ、活魚の他にも様々な加工食品を販売しております。名水として知られる庄川水系の湧水と独自の餌により、甘みある爽やかな味わい「越中福岡の美味しい品々」を是非一度お楽しみください。

次回は 10月16日(日)
島尾 歴史探訪「下田子藤波神社・柳田布尾山古墳」コース 約6km
集合 8時40分 氷見線島尾駅前